井上病院
オーバーナイト透析のしおり

目　次

Ⅰ.オーバーナイト透析とは？・・・・・・・・・・・・・・・　1

Ⅱ.オーバーナイト透析開始までの流れ・・・・・・・・・・　1

Ⅲ.オーバーナイト透析のメリット・・・・・・・・・・・・　2

Ⅳ.オーバーナイト透析の流れ・・・・・・・・・・・・・・・　3

Ⅴ.オーバーナイト透析　適応基準・・・・・・・・・・・・　4

Ⅵ.安全対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

Ⅶ.注意点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

Ⅷ.オーバーナイト透析実施時のお願い・・・・・・・・・・　8

Ⅸ.オーバーナイト透析中止基準について・・・・・・・・・　8

Ⅹ.自己管理につて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

XI.よくあるご質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

XII.井上病院　概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

Ⅰ．オーバーナイト透析とは？

夜間の睡眠時間を利用して行う長時間透析です。長時間透析は6～8時間かけて行う透析のことをいいますが、夜間の就寝中に行うため無理なく十分な透析を行うことができます。ゆっくりと時間をかけることで、より多くの尿毒素が除去でき、身体への負荷が少ない除水ができます。これらのことにより、透析後の疲労が少なく、透析合併症の軽減、特に透析患者の死因の第１位である心疾患の予防につながるなど安定した治療法です。その他にも、血圧の安定や薬の減量、貧血の改善が期待できます。

これまで仕事との両立で透析時間の確保に苦労されていた方にとって、有意義なQOL（Quality Of Life)の高い透析治療です。

Ⅱ．オーバーナイト透析開始までの流れ

お問合せ

- 地域医療連携室 透析担当看護師までお問合せください。
- TEL：06-6368-7441(直通)　平日　8:30～17:00

診察・面談

- オーバーナイト担当医師の診察を受けて頂きます。
  他院で透析中の方は紹介状が必要です。
- 希望理由や自己管理状況、既往歴などの確認を行い、
  オーバーナイト透析の適応であるか判断します。

実施確認

- 日中もしくは準夜帯で長時間透析を数回行い、オーバーナイト透析を開始します。
- 同意書の内容について理解していただき承諾を得ます。

当冊子の内容をよくご理解頂き、十分ご検討ください。

Ⅲ．オーバーナイト透析のメリット

身体への負担軽減

ゆっくり時間をかけて透析を行うので、心臓への負担が通常の透析よりも軽減できます。

2日空き時間の短縮

尿毒素や水分がより多く蓄積する、2日空きとなる時間を短くする事ができます。

薬剤の減量

血圧やリン、カリウム値の低下や貧血の改善により、降圧薬、リン吸着薬、造血製剤などのお薬を減量できます。

ストレスの減少

就寝中に透析を実施することで体感時間が大幅に短縮され、ベッド上での拘束時間のストレスが減少します。

身体症状の軽減

・透析後のだるさ
・足のイライラや下肢つり
・発汗異常　・口腔乾燥
・皮膚のかゆみや黒ずみ

などの症状を軽減できます。

良好な生命予後

長時間透析をすることにより血圧の安定や高血圧、貧血の改善、透析患者さまの死因第一位である心疾患の予防や透析アミロイドーシス等の合併症を軽減できます。

食事制限の緩和

塩分や水分などの制限は必要ですが、しっかりと透析を行えることにより、通常よりも緩やかな食事制限が可能です。また、食欲が増加し栄養状態も改善できます。

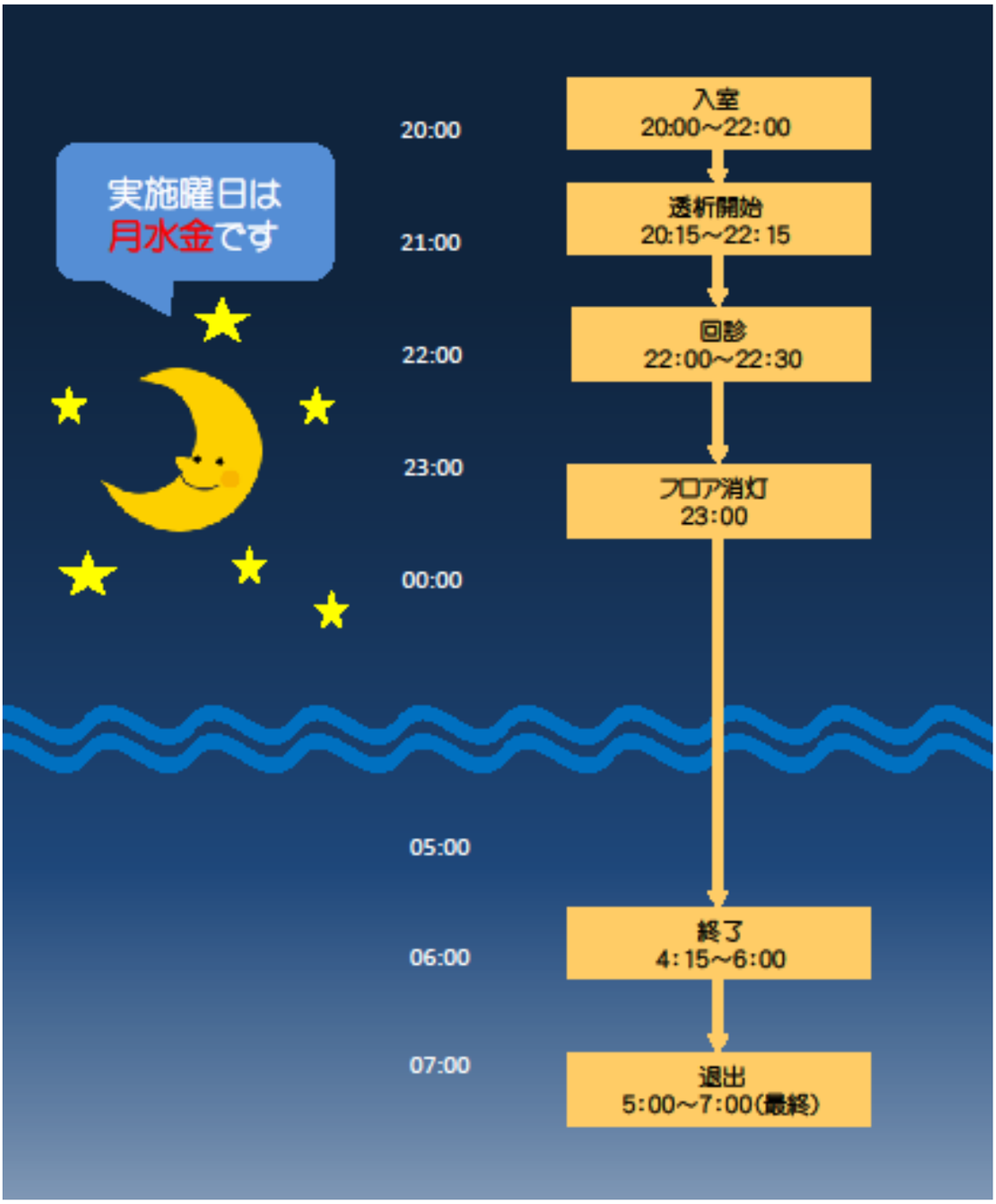
※以上は、一般的にオーバーナイト透析で挙げられるメリットであり、必ず効果を保証するものではございませんので、ご了承ください。

Ⅳ．オーバーナイト透析の流れ

透析棟の3階フロア内で実施します。透析中の睡眠を確保するために、血圧などの透析中のバイタルチェックは原則として、透析開始前、透析開始後、終了時の3回のみ行います。

6～8時間と聞くと気が遠くなるように感じられると思いますが、実際の体感時間は、約30分～1時間程度と言われています。また、最初は眠れない方も1ヶ月程度で慣れてくると言われています。

実際のスケジュールについては図の通りとなります。



※　同じフロアで23:30まで準夜透析を実施しています。ご了承ください。
※　夜間帯であるため、透析前に定期検査は実施できません。
別日に必要な定期検査をしていただきます。

Ⅴ．オーバーナイト透析　適応基準

当院では下記の“適応基準”を設けています。
該当されない方はお受けできません。またベッドには限りがあります。
ご了承ください。

- 長時間透析の利点を理解し、実施したい希望がある
- 就労・勉学などを目的としている（開始年齢の目安は60才前後までとし、退職後は日中または夜間透析へ移行をしていただきます）
- 医師・スタッフの指示が守れる
  「オーバーナイト透析のしおり」を理解し、ルールが遵守できる
- 安全対策（P.5-P.6）の項目について十分理解できる
- 体重管理を含めた自己管理ができている（中2日DWの6%以下の増加）
- 一般状態ならびに透析中の血圧低下がない、もしくは少ない
- 穿刺が困難でない（人工血管の場合は、止血操作を自己で行える）
- 心エコー・心電図検査において高度な心機能低下等の重篤な合併症がない。その他、重篤な合併症や既往歴がない
- 睡眠中の体動がない、または少ない。腰痛がない
  （抜針のリスク、体動による警報が少ない）
- いびきがない（CPAP装着可能）、他の患者の睡眠を妨げることがない
- 日頃の睡眠習慣や時間帯とオーバーナイト透析のスケジュールが合っている
- 急な透析変更がない、透析変更が少ない
- 自力で通院できる，介助を必要としない
- 日中または準夜帯に6～8時間の透析を数回行い、抜針リスクが低いこと、血液の凝固の程度や残血を確認できる

Ⅵ. 安全対策

夜間帯はスタッフが少数であるため、下記の安全対策を講じます。

血圧低下監視

- 循環血液量モニター（BVM：Blood Volume Monitoring）により循環血液量の変化を監視し、血圧低下を予測して治療を行います。
- 透析中の血圧測定は原則として、透析開始前、透析開始後、終了時の3回行います。
- 除水量は原則0.65kg/hrを上限とします。
  - 体重増加量は、中2日で6%以下で管理をお願いします。（維持血液透析ガイドライン：血液透析処方より）
  - 除水量に関しては血圧下降が著しい方、下肢つりが頻回な方は医師やスタッフの指示に従っていただきます。
  - スタッフの判断で患者様を起こすことなく除水量の変更をすることがあります。
  - DW（目標体重）の設定が重要になります。透析日、非透析日の体調変化、食事摂取量（太った、痩せた）などをスタッフにお伝えください。

Ⅵ. 安全対策

抜針対策

- 抜針は大出血を起こし命にも関わるため予防策を講じます。
- 血液漏れ（漏血）センサーにて抜針の早期発見に努めます。
- 寝返りで回路が引っ張られても抜針事故が起きないよう
  回路と腕はしっかりとテープ固定させていただきます。
- 穿刺部の観察・早期発見のため、穿刺部に布団を掛けないでください。

当日の体調について

- 体調不良（発熱・下痢・嘔吐・腹痛など）がある時は、
  事前に連絡し、対応についてご相談ください。
  夜間帯につき検査などができません。
- 体調不良の連絡は遅くとも当日16時までに連絡して下さい。
  - 安全性を考慮し、オーバーナイト透析の実施をお断りすることもあります。その場合は日中もしくは夜間透析に変更していただきます。
  - 他の患者さまに影響がありますので、連絡なく来院されないようにお願いします。

井上病院　透析棟　電話番号：06-6386-8926

災害時の対応について

- 災害時に速やかに避難するため回路を外すだけで、すぐに離脱できる逆流防止弁付針を使用します。

Ⅶ. 注意点

- 透析日の変更は2日前までに申し出てください。
（急病や止むを得ない突然の急用は除きます）

- 入室時間が22:00を過ぎる場合は必ず連絡してください。
※ 定期的に来院できない場合はオーバーナイト透析を中止させていただきます。

- 早い時間に終了した場合も、4時30分までは退室できません。
また、退室は午前7時までにお願いいたします。

- オーバーナイト透析は、寝ている間に透析ができることが最大のメリットです。当院はワンフロアーでの実施体制となります。十分な睡眠時間が確保できるように、周りの方への配慮ある行動を心がけて下さい。

- 穿刺順番は日替わり制でベッド並び順に開始していきます。
来院されてもすぐに開始できなかったり、終了時にお待たせすることがありますがご了承ください。

- 照明
・全員の穿刺終了後、23時30分頃にフロアの照明を消灯します。
・明りが気になる方はアイマスクなどを使用してください。
・点灯時間は翌朝5時30分となります。
・消灯後でも緊急対応時は照明をつけることがあります。

- 騒音
・警報やナースコールは日中と同じ設定で使用します。
・機械の警報音や足音、他人のいびきなどが気になる方は、耳栓を使用してください。
・DVDや音楽視聴をされる時は必ずイヤホンを使用して音量の調節をお願いします。
・携帯電話はマナーモードにし、通話はお控えください。

- 空調
・スタッフがフロア全体の空調を適温に設定します。
・個々のご希望には添えませんのでタオルケットなどで各自調整をお願いします。

Ⅷ．オーバーナイト透析実施時のお願い

- 透析前後の体重測定はご自身で行っていただきます。
- 抜針はスタッフが行い、止血ベルトを用いた自己止血となります。
- 退室時の片付けにご協力ください。
- 貴重品はご自身で管理をお願いします。高額な物は院内に持ち込まないようにお願いします（紛失等の責任は負いかねます）
- 車でお越しの方は、井上病院 管理棟地階駐車場をご利用ください。
- 退室時、お忘れ物のないようにお願いします。

Ⅸ．オーバーナイト透析中止基準について

オーバーナイト透析は、仕事との両立で透析時間の確保に苦労されていた方にとって、とても有意義なQOLの高い透析であり、長く実施していただきたい治療法です。しかし、就寝中につき血圧測定を実施しない、深夜帯でスタッフが少数であるなど、実施にあたっては安全性の確保が第一と考えます。長時間透析の意義と危険性を十分に理解していただくようお願いいたします。病状や自己管理状況、また当院のルールを遵守していただけないなど、適応基準に該当しない状況が続いた場合は、医師およびスタッフで検討し、オーバーナイト透析を中止させていただく場合があります。その場合は、夜間透析などの対応をさせていただきますのでご了承ください。

Ⅹ．自己管理について

長い透析治療で大切なことは、『しっかり食べ、しっかり体を動かし、しっかり透析すること』です。オーバーナイト透析ではしっかり透析をすることが可能ですが、無制限に除水ができるわけではありません。体重増加を抑えるために塩分、水分の制限は必ず行ってください。毎回体重増加が多くて無理な除水を繰り返していると心臓に負担がかかり、安全な透析ができなくなってしまいます。

オーバーナイト透析を開始してからも、自己管理を心がけましょう。

XI. よくあるご質問

Q1 オーバーナイト透析は誰でも受けられますか？
A1 就労されている方、求職中の方、学生の方など社会復帰を目的とされている方を優先とさせて頂きます。
詳しくは、Ⅴ.オーバーナイト透析　適応基準（P.4）
Ⅸ.オーバーナイト透析中止基準（P.8）項目をご参照ください。

Q2 オーバーナイト透析はどのくらいの時間行いますか？
A2 緊急時を除き原則6時間以上実施します。
6時間以上の透析を希望されない方は対象外になります。

Q3 シャワーはありますか？
A3 男女別で用意しています。また、女性にも安心してお使いいただけるようパウダールームもあります。ご利用ください。

Q4 食事はしてもよいですか？
A4 透析室での食事はできません。入室前にお済ませください。

Q5 透析前にお酒を飲んでも良いですか？
A5 透析日の飲酒は厳禁です。飲酒が発覚した場合は、翌日の透析に変更しオーバーナイト透析は中止となります。

Q6 車での通院は可能ですか？
A6 可能です。管理棟地階駐車場をご利用ください。
（防犯上、深夜帯は駐車場を施錠いたします。深夜12時～翌朝4時までの間は車の出し入れはできません。）

Q7 個室はありますか？
A7 4室ございます。個室を利用する場合は、個室料1回¥1,100（税込）を頂戴いたします。
個室を希望される方は個室使用同意書をご提出ください。

Q8 持参した方が良いものはありますか？
A8 バスタオルと枕用タオルは必ずご持参ください。また、必要な方はイヤホンや毛布、耳栓、アイマスクなどをご持参ください。

XII. 井上病院　概要

【標榜科目】
内科・循環器内科・腎臓内科・糖尿病内科・透析内科・消化器内科
外科・心臓血管外科・整形外科・リウマチ科・泌尿器科・眼科
リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

【入院病床数】
127床（急性期一般　86床、地域包括ケア41床）

【透析ベッド数】
透析棟200床

【アクセス】
大阪メトロ御堂筋線　江坂駅　８番出口より南西に徒歩約５分

【お問合せ】
井上病院　地域医療連携室
〒564-0053　大阪府吹田市江の木町　16-17
電　話　　06-6368-7441（直通）
ＦＡＸ　　06-6368-7440

第2版　2019年1月15日